# 2024年3月期(第72期) 決算説明資料(速報版)

## 株式会社 マキヤ

https://www.makiya-group.co.jp



#### 第72期【連結】損益計算書

(単位:百万円未満切捨て、%)

	2023年3月期		2024年3	前午同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	前年同期比
売 上 高	70,938	100.0	76,711	100.0	108.1
売 上 総 利 益	16,170	22.8	17,231	22.5	106.6
営 業 収 入	71,584	_	77,334	_	108.0
営業総利益	16,816	23.7	17,854	23.3	106.2
販売費及び一般管理費	15,180	21.4	15,626	20.4	102.9
営業 利益	1,635	2.3	2,227	2.9	136.2
経常 利益	1,812	2.6	2,396	3.1	132.2
当期 純利益	1,187	1.7	1,454	1.9	122.5
1 株当たり当期純利益	118.91	_	145.66	_	122.5

① 売上高・・・全業態が好調に推移し増収

食品⇒「生鮮」「日配」「グロサリー」の全部門が引き続き好調に推移し増収 非食品⇒「HBC(ヘルス&ビューティーケア)」部門、リユース事業が順調に推移し増収

- ② 売上総利益率・・・「競合店対抗による価格戦略」・「仕入価格の上昇」等による値入率の低下で0.3%ダウン
- ③ 販売費及び一般管理費・・・物流コストの上昇や給与のベースアップ等による人件費の増加があったものの、「作業改革」による生産性の向上及び水道光熱費の減少等により、経費率は1%の改善
- ④ 経常利益・・・前期比32.2%増で584百万円の増益
- ⑤ 当期純利益・・・前期比22.5%増で267百万円の増益、過去最高益となりました。

## 第72期【連結】売上分野別内訳

(単位:百万円未満切捨て、%)

	2023年3月期		2024年3	前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	印十一印象几
日配・加工食品	42,130	59.4	41,508	54.1	98.5
生 鮮 食 品	13,172	18.6	19,201	25.0	145.8
<b>HBC(</b> ヘルス&ビューティーケア)	5,270	7.4	5,547	7.2	105.3
住 関 連 商 品	4,356	6.1	4,387	5.7	100.7
生活 関連商品	2,432	3.4	2,496	3.3	102.7
そ の 他	3,575	5.1	3,569	4.7	99.8
合 計	70,938	100.0	76,711	100.0	108.1

### 第72期【連結】販売費及び一般管理費

(単位:百万円未満切捨て、%)

	2023年3月期		2024年3	前年同期比				
	金額	売上比	金額	売上比	別十四分ル			
販 売 費	1,060	1.5	1,114	1.5	105.1			
人 件 費	6,778	9.6	7,056	9.2	104.1			
水道光熱費	1,419	2.0	1,187	1.5	83.7			
不動産賃借料	2,026	2.9	2,032	2.6	100.3			
そ の 他	3,895	5.5	4,235	5.5	108.7			
合 計	15,180	21.4	15,626	20.4	102.9			

#### 第72期【連結】貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て、%)

		2023年3月期末		2024年3	前期末増減					
					金額	構成比	金額	構成比	月11年7月14日1195	
沙尺	流	動	資	産	9,895	29.5	11,972	31.4	+2,076	
資 産 -	固	定	資	産	23,604	70.5	26,121	68.6	+2,517	
<i>,</i> <u>.</u>	資	産	合	計	33,499	100.0	38,093	100.0	+4,593	
負	流	動	負	債	10,866	32.4	12,992	34.1	+2,126	
債	固	定	負	債	4,852	14.5	5,731	15.0	+878	
純純	負	債	合	計	15,718	46.9	18,723	49.2	+3,004	
資	純	Ě	資	産	17,780	53.1	19,369	50.8	+1,589	
産	負債	<b>し・純</b>	資産	合計	33,499	100.0	38,093	100.0	+4,593	
1株当たり純資産		1,781.07	_	1,940.23	_	159.16				
PB	R(株	価純資	資産倍	率)	0.39倍	_	0.57倍	_	0.17	

- ① 流動資産・・・災害リスク対策として手元流動性を高める方針により現金及び預金が1,592百万円増加 売上高増などに伴い「売掛金(クレジット等未収金)」が498百万円増加
- ② 固定資産・・・子会社取得によりのれんが1,762百万円増加、投資有価証券が289百万円、有形固定 資産が234百万円、敷金及び保証金が226百万円増加
- ③ 流動負債・・・買掛金が829百万円、短期借入金が586百万円、未払金が322百万円、未払法人税等が115百万円増加
- ④ 固定負債・・・長期借入金及びリース債務が870百万円増加
- ⑤ 純 資 産 ・・・1,589百万円増加し、自己資本比率は50.8%

## 第72期【個別】損益計算書

(単位:百万円未満切捨て、%)

(-1- im inval actors and if a ver									
			2023年3	2023年3月期		2024年3月期			
					金額	売上比	金額	売上比	前年同期比
売		上		高	70,385	100.0	76,151	100.0	108.2
売	上	総	利	益	15,954	22.7	16,991	22.3	106.5
営	業		収	入	71,072	_	76,815	_	108.1
営	業	総	利	益	16,641	23.6	17,655	23.2	106.1
販売	責費及び	<u>), —</u>	般管	理費	15,153	21.5	15,475	20.3	102.1
営	業		利	益	1,488	2.1	2,179	2.9	146.4
経	常		利	益	1,686	2.4	2,375	3.1	140.8
当	期	純	利	益	1,114	1.6	1,482	1.9	133.1

#### ①店舗政策

店舗名	年 月	備考
エスポット駿東店	2023年4月	改装:売場最新化
ポテト粟倉店	2023年5月	改装:売場最新化
エスポット裾野店	2023年6月	改装:売場最新化、ドラッグ導入
エスポット函南店	2023年7月	改装:売場最新化、ドラッグ導入
マミー原町店	2023年8月	改装:売場最新化
エスポット湯河原店	2023年10月	改装:売場最新化
業務スーパー清水町徳倉店 はままつ ほうがわ	2023年10月	新規開店
業務スーパー浜松芳川店	2023年11月	新規開店

#### 第72期 店舗情報

(単位:店、百万円、%)

業態	静岡県	神奈川県	埼玉県	山梨県	合 計	売上高	前年同期比
エスポット	16	5			21	51,353	107.4
ポテト・マミー	14				14	10,642	106.0
業務スーパー	35	2	7	7	51	20,887	109.6
ハードオフ・オフハウス	6				6	641	106.6
I・コモード	2	1			3	158	102.9
ダ イ ソ ー	5	2	1		8	790	106.9
合 計	78	10	8	7	103	84,474	107.7

<sup>※</sup>各業態の売上高は、前年比較情報等の精度を高めるため、収益認識会計基準適用前の数値にて表示しております。

#### 来店客数及び買上点数の推移





## 第72期 主要な施策等

区分	施策等	内容				
営業	ロス額の削減	消費期限値引や廃棄などの削減				
五 未	値入率の改善	プライベートブランド・ローカルブランド商品等の販売強化				
	作業効率の改善	作業効率を向上する商品補充オペレーションや陳列方法の徹底				
働き方	労働環境の改善	有給休暇の取得の推進など				
	レジ業務効率の改善	セミセルフレジの導入				
キャッシュレス	マキヤプリカ推進	L I N E ミニアプリ配信クーポンの充実、オンラインクレジットカードチャー ジの導入				
	寄付の継続実施	静岡市へ福祉車両寄贈、令和6年能登半島地震等の地域災害への寄付				
CSR活動	環境対策	太陽光パネルの設置(新規5店舗、全8店舗)				
	リユース事業	リユース事業(ハードオフ・オフハウス)の拡大(前年比6.6%増)				

## 第73期【連結】損益計画

(単位:百万円未満切捨て、%)

	2024年3月期		2025年3月期(計画)		金田し
	金額	売上比	金額	売上比	前期比
売 上 高	76,711	100.0	86,900	100.0	113.3
営 業 利 益	2,227	2.9	2,260	2.6	101.4
経 常 利 益	2,396	3.1	2,410	2.8	100.6
当期純利益	1,454	1.9	1,500	1.7	103.1
1株当たり当期純利益	145.66円	_	150.25円	_	103.1
1株当たり年間配当金	20.0円	_	25.0円	<u>—</u>	125.0

#### 第73期 主要な施策等(計画)

- 「 E D L P (エブリディロープライス) 」の徹底とプライベート・ブランド・ ローカル・ブランドの販売強化
- ② 「欠品・品薄」の撲滅とフェイスアップ・ボリューム陳列
- ③ 「鮮度チェック」の徹底と「ロス額」の削減
- ④ 「過剰在庫・死に筋商品・デッドストック」の発見と撲滅
- ⑤ 「集中作業」の実践と「働き方」改革の推進
- 6 CSR活動の推進拡大(再生可能エネルギー導入拡大、省エネシステム の導入拡大、社会貢献寄付活動等の継続)



USUAL